

地域の子どもは、地域で守り育てる 『地域のおじさん、おばさん』になってください。

社団法人青少年育成国民会議では、全国の都道府県民会議や市町村民会議、青少年関係団体とともに、『青少年の心を育てるキャンペーン』を展開中です。

キャンペーンでは、『大人が変われば、子どもも変わる運動』と『地域のおじさん、おばさん運動』を推進しています。

『地域のおじさん、おばさん運動』の基本は、近隣の子ども達と向き合い、温かく見守ろうという気持ちです。自分ができる身近なことから始めましょう。

たとえば、
こんなことからで
いいんです！

◆子ども達に積極的に声をかける

良い行いを目にしたときは、ためらわず褒めてあげる。危険な遊びやルール違反には、見て見ぬふりをせずに注意しましょう。

●うちの地区は、大人も子どもも、交流が多いと思う。朝、学校に行くときは、“いってきます”“いってらっしゃい”。帰ってくるときは、“ただいま”“おかえりなさい”などの言葉がとびます。あいさつをすると気持ちがいいし、うれしくなります。(愛知県 中3)



◆子ども達の立場を考えてあげる

子どもが困っているとき、苦しんでいるときこそ、良き理解者、親身な相談相手でありたいもの。

●私は、つらいことや悲しいことなど、お母さんに話します。お母さんはいつも私の立場になって考え、アドバイスをくれます。「〇〇が辛いときは、いつでもおいで。お母さんの相談窓口はあいています。」私は、この言葉にいつも救われます。(福井県 中3)

◆子ども達を事故や犯罪などから守る

地域に事故につながる危険な場所はないですか。子どもを誘惑したり、犯罪に巻き込む恐れのある場所はありませんか。そういった観点から地域の環境を再点検してください。

子ども達の安全・安心を確保する『子ども110番の家』や『地域パトロール活動』等を強化しましょう。



◆情愛の気持ち・独立心を育てあげる

友だちとの遊び、自然や動植物とのふれあい、異年齢グループの中での活動などは、健やかな心や体を育むうえで欠かせない体験です。

子ども達がのびのびと活動できる機会を積極的につくってあげましょう。



◆良いことは率先して行う

●私たちは大人の背中を見て成長していきます。大人がきちんとした行動をとっていなければ、その姿を見て育った私たちもその大人になってしまうと思います。これから先、“いい生き方”をしている大人に出会えたらいいなと思います。(福島県 高1)